

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理面接法		選択	2	3.4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>コミュニケーションの基本を理解し、自分自身のコミュニケーション体験を振り返りコミュニケーションパターンを知ることとする。カウンセリング技法を取り入れながら、良好で多様な人間関係を築くためのコミュニケーション・スキルを身につけることを目的とする。</p> <p><概要>コミュニケーションの基本を理解し、技法を学ぶためにロールプレイやグループワーク等を用いて体験的に学修する。</p>				
学 習 上 の 助 言	ロールプレイやグループワークを用いて授業を行うため積極的な参加が望ましい。				
教 科 書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参 考 書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	コミュニケーションの基本的意義を理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)、WP(6)	
②	自分のコミュニケーションパターンを理解し、コミュニケーションに活かすことができる。			WP(4)、(6)	
③	多様な人間関係について理解し、良好なコミュニケーションを行うための技法を身につけることができる。			WP(3)、(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。 コミュニケーションの基本的概念を学ぶ。	講義	授業内容を復習する。	2	
2	コミュニケーションの基本 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションについて学ぶ。	講義・演習	言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションについて復習する。	3	
3	コミュニケーションの基本 非言語行動の種類と役割について学ぶ①。	講義・演習	非言語行動について復習する。	3	
4	コミュニケーションの基本 非言語行動の種類と役割について学ぶ②。	講義・演習	非言語行動について復習する。	3	
5	コミュニケーションの基本 言語及び非言語コミュニケーションのまとめと考察を行う。	講義・演習	言語及び非言語コミュニケーションについて整理し考察を行う。	6	
6	コミュニケーション技法の実際 自分のコミュニケーションパターンを知る①。	講義・演習	ワークを通して自分のコミュニケーションパターンについて整理する。	3	
7	コミュニケーション技法の実際 自分のコミュニケーションパターンを知る②。	講義・演習	ワークを通して自分のコミュニケーションパターンについて整理する。	3	
8	コミュニケーション技法の実際 自分のコミュニケーションパターンのまとめと考察を行う。	講義・演習	自分のコミュニケーションパターンについて整理する。	6	
9	対人コミュニケーション技法の実際 話し方の技法について学ぶ①。	講義・演習	ワークを通して話し方について学び復習する。	3	
10	対人コミュニケーション技法の実際 話し方の技法について学ぶ②。	講義・演習	ワークを通して話し方について学び復習する。	3	
11	対人コミュニケーション技法の実際 話し方の技法について学ぶ。	講義・演習	ワークを通して話し方について学び復習する。	3	
12	対人コミュニケーション技法の応用 傾聴について学ぶ。	講義・演習	ワークを通して傾聴について学び復習する。	3	
13	対人コミュニケーション技法の応用 傾聴について学ぶ。	講義・演習	ワークを通して傾聴について学び復習する。	3	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

14	対人コミュニケーション技法の応用 傾聴について学ぶ③。	講義・演習	ワークを通して傾聴について 学び復習する。	3
15	総括を行う。	講義・演習	自分のコミュニケーションパ ターンを振り返り、整理する。	13
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	30	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	5	0	5	20
	思考・推論・創造する力	0	10	5	0	5	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	5	10
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	5	0	5	20

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①	レポートのテーマは授業内で伝える。授業で体験したことを踏まえながら、出題意図に沿った内容となっているか、文章の構成等について評価する。	コメントを付し返却する。全体講評を行う。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①	ワークへの積極的参加度、技術、取組みの姿勢を総合的に評価する。	ロールプレイ及びグループワーク時に個々にコメントを行い、ワーク後講評及び解説を行う。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①	毎回講義後にリアクションペーパーの提出を求める。ロールプレイ及びグループワークを実施した体験の振り返りから考えたことや疑問に思ったことなどについて記述してもらう。	毎回授業の最初に前回の授業の振り返りを行い、質問に回答する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備考

大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めません。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。

担当教員：◎瀧口 綾、前川 真奈美

実践的授業の内容：これまでの心理にかかわる専門性と経験を講義に生かしながら学習を進める。